

平成23年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7861）

8目 健康県づくり推進費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
みんなで支えあう地域づくり事業（自殺対策緊急強化事業）	75,145	52,835	22,310	385		(基金繰入金) 73,023 (雑入) 48	1,689	
トータルコスト	88,725千円（前年度 54,449千円）〔正職員：1.7人 非常勤職員：4.0人〕							
主な業務内容	相談支援業務、普及啓発業務、補助金事務等							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成21年度から3年間の対策に係る「鳥取県自殺対策緊急強化基金」により、本県の実情に応じた自殺対策に取り組むとともに、民間で行う取組に対して支援を行い、地域における自殺対策の充実を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内 容	経費
相談窓口の整備	○各福祉保健局及び精神保健福祉センターでの各種相談の対応 ○【拡充】心の健康と暮らしの法律相談会の毎月開催 ○鳥取いのちの電話支援事業 ○いのちの電話通話料無料化支援事業 ○相談窓口担当者連絡会の開催	8,673
特色ある自殺予防対策の推進	○【拡充】モデル的に中部圏域で行ってきた「眠れてますか？睡眠キャンペーン」を全県展開し、各圏域の実情に応じた研修会や実態調査。 ○【新規】自殺対策人形劇派遣事業 「眠れてますか？睡眠キャンペーン」の一環として作成した人形劇「眠れなくなった父さんヒツジ」を市町村主催の研修会等に派遣し、うつ病に対する理解を促進する	3,664
精神医療体制の充実	○【新規】医療従事者向けうつ病対策研修会 精神科の医療機関の医療従事者を対象とした資質向上研修会 ○かかりつけ医と精神科医との連携会議 ○かかりつけ医心の健康対応力向上研修	1,761
自死遺族へのケア	○自死遺族の集い ○自死遺族グループへの支援 自死遺族自助グループに対し、その活動が定着するよう、活動費等について助成	1,660
自殺予防の普及啓発	○自殺対策フォーラムの開催 ○自殺予防週間街頭キャンペーンの実施 ○自殺予防に係る映画の上映会 ○自殺予防リーフレット等啓発物の作成	37,099
自殺予防県民運動の推進	○【新規】ゲートキーパー養成研修 市町村に配置される健康づくり推進員などを対象に、新たにゲートキーパー養成研修を実施する。 (※)ゲートキーパーとは 地域や医療・保健・福祉、労働、教育等、様々な分野における相談支援活動において、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門相談機関へつなぐなどの役割が期待される人材のこと。 ○市町村自殺対策緊急強化交付金の交付 ○「心といのちを守る県民運動」の運営	22,288
合計		75,145

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年度に3年間の地域自殺対策緊急強化基金を設置。平成21年度は国の事業メニューに沿って相談支援や自殺対策を推進する新たな組織の設置等を実施。平成22年度は、平成21年度にかかりつけ医と精神科医との連携会議で作成した「かかりつけ医と精神科医との連携マニュアル」の見直しを行ったほか、中部圏域の自殺対策事業で1市4町と県が実施している「眠れてますか？睡眠キャンペーン」の一環として、自殺対策人形劇を作成し普及啓発に努めた。

平成23年度は相談体制整備や人材養成等更なる自殺対策を緊急に実施して、地域における自殺対策を強化していく。